

科目番号	54013	分類	専門科目 基礎公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年	
科目名	コミュニティアセスメント演習 (Practice of Community Assessment)					1	
						配当セクター	
						後期	
担当者	○駒田真由子 他1名	区分	必修	単位	1	時間数	30
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連		
【概要・目標】 コミュニティアセスメント論で学んだ知識、技術を応用して地域診断を実践する。様々な手法で入手したデータを基に、地域住民の健康にかかわる問題・課題とその要因を分析し、地域の生活や健康課題を解決するための活動計画とその評価、施策化の視点を演習を通して学ぶ。					○	1.多様な課題に対応する高度な実践力	
					○	2.地域住民の自立を支える統合的支援能力	
					○	3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力	
					○	4.政策や保健事業を開発する能力	
					○	5.災害対応や復興・再興感染症への危機管理能力	
					○	6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力	
授 業 計 画							
回	内 容					担当教員	
第1回 第2回	オリエンテーション 地区踏地域診断演習①② 地域診断のための情報収集					駒田 他1名	
第3回 第4回	地区踏査・地域診断演習③④ 地区踏査の実施						
第5回 第6回	地区踏査・地域診断演習⑤⑥ 目黒区の実習に向けて、実際に歩いて地区踏査のフォーマットを完成させ、地域診断のフォーマットの作成にも取り組む。						
第7回 ～ 第9回	地区踏査・地域診断演習⑦⑧⑨ 地域診断フォーマットへの取り組み						
第10回 第11回	地区踏査・地域診断演習⑩⑪ 発表会・修正作業						
第12回 第13回	健康教育① 企画書(案)作成 健康教育対象の健康課題の明確化を行い、健康教育テーマ(案)を明らかにする。						
第14回 第15回	健康教育② 企画書(案)作成 企画書(案)は実習1週目に指導保健師の確認を経たのち、健康教育準備に入る。						
事前・事後 学習	事前学習：図書およびコミュニティアセスメント論の資料をよく読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に取り組むこと。						
評価の方法	地域診断演習の制作物 80%、地域診断演習の発表 20%から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。						
参考図書 ・資料等	©Elizabeth T. Anderson, Judith McFarlane 編 金川克子, 早川和生 監訳 コミュニティア ズパートナー第2版 地域看護学の理論と実際 医学書院						
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						